

平成18年度

～子どもたちの自由なあそび場を、子どもも大人もみんなでいっしょにつくろう！～

まっ白い広場 in 幕張海浜公園 第6回活動報告書

★ 子どもたちとの楽しいあそびの様子を、“まっ白い広場サポーター”がレポートします。

まっ白い広場、やってるよ～！



今回のあそびのたね

－ 火のまわりであそぼう－

前回は「お試し版」だったピザ焼きも、ちゃんとぱりぱりのピザがおいしく焼けるとわかって、自信ができました。今回からは、もっといろんな焼き物にもチャレンジしようと思います。

10月は、「幕張海浜公園まつり」の中で、まっ白い広場として、松林の開放やクラフトなどをして、毎月の広場のことを宣伝することができました。

さて、さて、なんだか今回は人数も多そうだぞ。すっかり秋になって、木枯らしも吹くけど、火のまわりはあったかいし、おいしいことがいっぱいだ。

第6回 実施概要

テーマ：～火のまわりであそぼう！手づくりピザを焼こう～

実施日：2006年11月26日（土）

時間帯：午前10：00～午後4：00

場所：幕張海浜公園 松林とその周辺



天候：はれ

参加者：50名 スタッフ：7名

タイムスケジュール

- 9：30～ 現場安全点検
- 10：00～ 受付開始
自由なあそび（午前の部）
- 12：00～ 昼食
- 13：00～ 自由なあそび（午後の部）
- 15：30～ 片付け・撤収開始
- 16：00 解散



”まっ白い広場“のバナーづくり

広場の子どもたちは、年齢も大小さまざま。初めて同士だったので、なかなか打ち解けにくいですが、受付サポーターが、秋色のバナーをつくろうかなと色紙をいじっていると、「なにやってるの？」とみんながのぞきにやってきました。そこで、お手伝いをお願い。一文字ずつ、かわいい文字を書いてくれました。紙を麻ひもでみんなでつなげてバナー完成。そのころには、みんなすっかりノリノリになって、ふざけ合っていました。

薪の調達のはなし

ドラム缶のピザ釜の扱いは、鶴沢サポーターの腕のみせどころ。実はその薪にも、人知れぬ苦労があるのです。ピザを焼く場合の薪は、何でもいい訳でなく、釜の中で燃やしたときに、嫌なおいがでないものでないといけません。そこで、菅田の田園に住んでいる、別のサポーターの山林から好意で提供してもらった材木を、念入りに選んで運んでいるのです。おかげで、香ばしいピザが焼けるというわけなのです。



思い思いのピザのトッピング

宣伝の効果があつたのか、今回ピザ焼きに挑戦したい人たちがとってもたくさん来てくれて、ピザ生地づくりのシートの上は、大にぎわい。

それぞれもちよったトッピングの具も、ほんとにいろいろなものがあります。お互い具を交換し合ったり、あまった具を分け合ったりして、どれが誰のかわからなくなりそうなのですが、子どもたちには、ちゃんと自分のがどれだか見分けがつくらしいのです。

枝豆をのせたり、きのこをのせたり、小さいのを2枚つくったり、ほんとにいろいろなおいしそうなおリジナルのピザができていました。

でもせっかく、トッピングまですんだのに、焼き上がる順番待ちで、大混雑でした。



Myピザを、シェアして食べる

おなががすいているけど、なかなか焼く順番がこないという状況の中、子どもたちは考えました。早く焼き上がった子が、自分の分を切り分けて、まだ焼けてない子に分けてあげます。それで、焼き上がったら、逆におかえしをもらう方法です。

実は、そのほうが、2度おいしいのかも。

それからなんとうれしいことに、みんながきまって、自分の焼き上がったピザを一切れ切るがはやいか、まず火の前で番をしている鶴沢サポーターに差し入れしてくれるのです。お昼も食べないで、みんなのピザを一生懸命、汗だくになりながら焼いている姿を見ていてくれているんですね。鶴沢サポーターも、お返しに焼きシイタケを振る舞ってくれました。



火でいろんなものを焼いて食べる！

他にも、レンガで組み立てる簡単なかまどや炭火コンロが使えるように準備してありました。男の子たちが、火起こしと、薪を燃えやすいサイズにのこぎりで切るのを、一生懸命手伝ってくれました。おかげで、ピザの他にも薪がたっぷり使えます。

男の子ばかりでなく、“火”を使うとなると、実は、たいていのお父さんは、夢中になります。おいてあった炭火コンロも、はじめは見学していたお父さんの手によって、いつのまにか火が起こしてあって、いろんなものが焼ける状態になっていました。

そこで、ピザのあとは、まず、かまどでマシュマロ焼きです。適当な長さの小枝を拾って、マシュマロをさして火であぶると、とろとろでおいしい焼きマシュマロができます。コンロではお鍋でポップコーンを焼いてみたり、お汁をつくったり、おもちやリンゴ、イモなどを、ホイール焼きにしたりと、目一杯楽しみました。

火があるっていいね

寒い季節になると、ほんとに火のありがたみがわかります。大人たちの車座になっての談笑では、「ふだんの公園でも、冬はこんな風に気軽に暖がとれるといいのにな」、「犬の散歩をしても、たき火があるとうれしいな」という声が聞かれました。さらに災害時にも、「このピザ釜さえあれば、怖くないね!」とも。サバイバル訓練だったんだ。



まだまだあそんでいたいよ～!

夏に原始人ごっこを考えだした仲間が、また再会したので、さらにパワーアップして探検を繰り広げて、前回思いついた、ヤシの枯れ枝のダチョウの乗り物を、またみんなで作って、原始人の乗り物だといって、公園中をがんがん乗りまわしていました。いったいどんな集団?

さて、冬はあつという間に日が落ちてしまい、園内もどんどん暗くなっていきます。大人たちが片付けている間も目一杯あそんでいた子どもたちも、「さあ、帰るよ!」といわれると、ぽろっと涙が。「まだまだ、遊んでいたいよー!」

まとめ

あまりにピザ焼きが大盛況で、みんなの分が焼き切れるか、ちょっと心配になりましたが、みんなお互い工夫し合って、おいしい、楽しい時間が過ごせました。

やっぱり、火って、あつたかい。みんなの心も温かくするのかなと思えました。

まっ白い広場のように、公園に集う人たちが、そんなあつたかい火を囲めるようにするにはどうしたらいいのか?

これからの、楽しい課題を発見しました。

今回あそびのたねから生まれたもの

- ・ バナーにおえかき
- ・ まき割り
- ・ みんなでピザのシェア
- ・ 原始人ごっこレポート2

など"など"